

駿河台大学 同窓会報

第3号

発行

駿河台大学同窓会事務局

〒357 8555
埼玉県飯能市阿須698
☎ 0429 72 1101

ホームページ
<http://www.surugadai.ac.jp/>

平成14年度同窓会総会実施報告

金創設等の新規事業経費の計上が承認されまし

1 総会

去る5月18日(土)、平成14年度同窓会総会が池袋のホテルメトロポリタン富士の間に開催されました。同窓会は設立から8年が経過し、会員数も1万人を超えました。

総会は役員(白石直哉氏(平成3年 法学部卒)の司会のもと、江川雅司学生部長、原聰就職部長により大学近況報告がなされた後、同窓会設立以来、会長を務めてきた金子智彦会長から富岡勇哉新会長(平成4年 法学部卒)への会長交代が承認されました。

議事では富岡新会長が議長となり、平成13年度収支決算・監査報告、平成14年度事業計画及び予算案、新役員の選出等が審議され、いずれも異議なく承認されました。

平成14年度予算では、収入の部においては、従来入学時に徴収していた終身会費2万円を今年度より5千円×4年間として徴収するため、一時的に減収となること、支出の部においては、ホームカミングデー実施、地方支部会実施、同窓会奨学



2 懇親会

総会終了後は、別室のパーティールームにて懇親パーティーが開催され、会員及び教職員を含め約70名ほどの出席がありました。やや少ない出席ではありましたが、今後出席者が増え、同窓会総会が会員同士の再会の場として定着していくことが期待されます。

懇親会では、富岡新会長の首頭で乾杯し、パーティーに入るに駿河台大学の歴史をたどったビデオ上映なども行われ、会員たちは駿河台大学で過ごした日々を懐かしみ、旧友や恩師と思い出話を深めていくとともに、在学生及び母校への後援活動を積極的に行っていくという同窓会としての意義を確認し合い、廣瀬尚副会長(平成5年 法学部卒)の首頭による校歌斉唱をもって幕を閉じました。(事務局)



富岡新会長あいさつ

会長 富岡 勇哉



只今ご紹介に預かりました平成4年卒業の富岡勇哉と申します。さきほど皆様のご承諾を頂きまして同窓会の会長ということで選出されました。ありがとございます。お忙しい中こちらのほうまでご足労頂きましてまことにありがとうございます。

私の個人的な考えではありますが、先ほど江川先生、原先生からのご紹介があった通り、大学の同窓会としては、学生さんのサポートが中心となっております。ただ、我々がサポートするだけということでは、なかなかボランティア精神に基づくものとなってしまうので、お互いが同窓会のメンバーあるいはご列席いただいている方々について、後輩を通して例えば、ご自分の事業に活用していただくとか、何らかの機会に会合を持つ、あるいは接触をしていただく場となつて、例えば慶応大学のように非常に強固な形のものを目指したいというふうに考えております。皆様、是非いろいろなアイデアや我々だけでは分からないこともありまので、ごうしたほうがいいというご意見ございましたら学生課なり、私のほうなり、役員のほうにでもご連絡いただければ、実現に向けていろいろ考えていきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

私平成4年に卒業いたしましたし、当時総務府と呼ばれていました現在内閣府ですが、そちらに勤務することになりました。現在は内閣官房という



ところに向向してありまして小泉内閣を支える下支えをするということでも様々な仕事を行っております。例えば個人情報保護法とか武力攻撃事態対処法とか、カオスの時代を反映するような、混乱をみるような法案が成立しようとしています。皆様の生活も経済の悪化、底入れ宣言も先日竹中大臣からありましたが、なかなかご自分の生活を直視されて、これから良くなるのかどうか分からない、混沌の時代に入っていると思ひます。ですから、この混沌した時代を何とか乗り切るために、駿河台大学として乗り切っていくために、その方法のひとつにはマンパワー、人の力が必要でありま。横の連携、縦の連携、小さなサークルの連携、そこからもっと大きくドラスティックに、言葉は悪いのですが、使えるものは使う、目上の人脈で張っているのであればそれを利用していく、そのような連携を相互間で推進していくことが同窓会の究極の目的であると思ひます。ですので、この方針で今後進めさせていただきたいと思ひます。そのためには、皆様のご協力やご尽力が必要となつてまいりますので、この場をお借りしてお願いいたしますと思ひます。非常に短いですが、これで挨拶に代えさせていただきますと思ひます。ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします。

金子前会長あいさし

前会長 金子 智彦



皆様こんにちは。本日は昨日からの雨で足元が悪い中、また、大変お忙しい中を総会に御出席いただきましてありがとうございます。平成6年にこの同窓会が設立されまして、誠に僥倖ながら私が初代会長の大役を仰せつかり、今日までたいへん長い間その職を務めさせていただきました。この間、私自身の力不足もあり、なかなか同窓会独自の事業展開を図ることができず、充実した運営とは言えない実情でしたが、会員の皆様方には格別なる御理解と御協力を賜り、無事に会長の職責を全うさせていただきましたことに、改めて御礼申し上げます。

今日私は飯能の自宅からこの会場に来るまでの間、15年も前のことをいろいろと思い出して見ました。昔から飯能では、「阿須崖（あすづばけ）」と呼ばれる市境に、まだ建設中ではありましたが駿河台大学の講義棟を目にした時の不思議な感動、そして、今では想像もできませんが、一度線路内に下りないと隣のホームへ渡れなかった当時の飯能駅に一言に貼られた駿河台大学のポスター『駿河台大学の1期生になることは、新しい時代の法律家の1期生になることだ。』という心躍るフレーズ。

年月が流れ、駿河台大学の1期生として卒業し、地元飯能市役所に就職して11年が過ぎました。就職してからは長いこと社会教育の分野で仕事をさせていただき、その間も、生涯学習の推進ということで、先生方、職員の方々には大変お世話になりました。「地域に開かれた大学」としての駿河台大学の方針は、飯能市民にも実に好意的に受け入れられ、さまざまなお誘いで、混沌とした時代を乗りきる一つのメルクマールクを示してくれています。

さて、同窓会のこと話話を戻しますと、同窓会設立の趣旨は、「卒業生相互の親睦を深めると



江川学生部長あいさし

こんにちは。司会者の方からたぐいまれな紹介に預かりました学生部長の任を拝命しています江川雅司です。僥倖ですが、一言挨拶を申し上げます。本日は、お忙しいところご臨席賜りまして、誠に有り難うございます。心より感謝申し上げます。さて、駿河台大学も開学15年目を迎え、これまで様々な展開をし、前進してまいりました。同様に、同窓会もこれまで以上の展開を計画しているとお聞きしまして、大変頼もしく思います。

同窓会は、会員相互の親睦と向上を図り、併せて大学の発展に寄与することを目的に設立された組織であると思います。従いまして、「会報」にも書かせていただきましたが同窓会と大学とが密接な連係なしには、これまで以上の発展はないかと考えておりますので、この場をお借りいたしました、今後とも宜しくお願い申し上げます。

さて、最近の学生の気質ですが、お金があればすべてのものが入手できる環境、つまり豊かな環境の中で育ってきたため、何かの障害にあたった時にはその障害に乗り切れるだけの力が未熟のようです。この解決策は、アフリカで活躍したアルベルト・シュバイツァー博士の「あなたの方の中で本当に幸福になるであろう人たちは、他人のために尽くす道を求めてそれを見出した人たちである」ということ、という指摘のなかで見出すことが出来るかと思えます。つまり、他人のために、同窓会のために、大学のために尽くすことによつて生きる力が増進すると信じております。学生のみならず、同窓会と大学もこの関係を進めば、必ずや更なる展望が広がると考えますので、この関係を切に希望しております。

また、ここ十数年の日本経済の状況（失われた十年といわれていますが）や、少子化に伴う大学を取り巻く環境は、ご臨席の皆様方は良く理解されているかと思いますが、学生・ご父母の皆様方と大学にとっては厳しい状況下にあります。最近、大学では、「クラブ・ハウス」の建設、トレーニングセンターのオープン、女子寮の開設、特別給付奨学金等をおとして、何かと積極的に学生生活の環境整備に邁進しております。しかしながら、これらの状況から少しでも脱却するために、大学ではスポーツ振興、課外活動の奨励、及び経済的困窮者への奨学金の更なる充実が急務となっております。

本学での奨学金は、駿河台大学特別給付奨学金・貸与奨学金や、日本育英会を始め様々な奨学金がありますが、実際は、採用人数や金額等の面において、まだまだ十分ではないと考えます。そこで、かねてから同窓会、父母会それぞれの会の役員の皆様方には、奨学金の充実をお願いしてまいりました。とりわけ、同窓会には、大学がここ2、3年前から積極的に取り組んでいるスポーツの振興にお力をいただければ幸甚と考えております。先にもお話をさせていただきましたように、大学では、スポーツ振興の一環として今年の1月に「クラブ・ハウス」の竣工、トレーニングセンターを充実させ、卒業生、学生、及び教職員の体力増強に役立たせております。そのかきもあり、強化指定クラブを中心に女子ホッケー部、カヌー部、剣道部、スキューバ等の目覚ましい活躍があります。したがって、スポーツ振興を目的として、給付時点1か年前に優秀な成績を収めた学生を対象とした給付奨学金制度の立ち上げのご提案をさせていただきます。どうかと考えておりますので、ご承認していただければ幸甚です。詳細は、後ほど、事務局からご説明をさせていただきますたく思いますが、切にご理解、ご承認のほど宜しくお願い申し上げます。

今後、駿河台大学では、これまで以上に努力し、社会に貢献できる人材育成に精進し、ますます大学の発展を目指していきたいと考えておりますが、それには同窓会の皆様方のご協力なしにはなかなか更なる一歩を進めることは不可能かと考えます。重ねて、宜しくご協力のほどお願い申し上げます。

お願いばかり申し上げまして、大変失礼致しましたが、挨拶に代えさせていただきます。本日は、ご臨席いただきまして誠に有り難うございました。

もに、卒業生が後輩の在校生に対する物心両面にわたる後援活動を行っていくことにあります。今後は、ますます卒業生相互が親睦と融和を図り、お互いのネットワークを強固なものにし、同窓会がより一層発展することを願っております。私も今日からは同窓会員として、微力ではございますが引き続き同窓会のために力を尽くしたいと思っております。ありがとうございます。

原就職部長あいさつ

こんにちは。今日は懐かしい顔にたくさん会えるかなとおもってやってきましたけど、いつもみてる顔が多いかなというところで少し残念、これから増えるかもしれない、どんどん盛んにしていただきたいというふうに思います。

15年前に大学ができたとき、私は一番若手だったのに、15年経ったらこんなふうになってしまいました。皆様方も卒業されて大人になったのを見ると嬉しいなと思います。今、駿台の就職状況は非常に厳しいといえます。大学としては私自身もそうですが、ものすごい危機感をもってまず、きちんと自己決定、自己選択ができていないで出て行ってしまう学生、そういう形でしか私たちは教育できないということを痛感しているところです。

つい先日、大学ではFD(ファカルティー・デベロップメント)授業の工夫改善というのがどうして必要だということと研修会がありました。そこでの主たる話題は何かという、きちんとした就職先を確保できる大学、それは何かということ、大人にしてだすということが我々の使命だと考える。大人になっていくということの非常にわかりやすい具体的な姿は、真の仕事を選んでいくことだということを考えて、これを教育の目標にしようじゃないかとこういう話がされました。それで、今日は皆様方、先輩方、同窓会の方にお願いがあります。それは、フリーターになってしまおう学生たちにとって、やはり仕事をしなきゃと生きていくぞっていうふうなモデル、直接的で具体的に親近感のあるモデルっていうのはやはりこれは駿河台大学の卒業生の皆さんだと思えます。私たちが話しても、いろんな書物を読んだとしても具体的な姿は皆さん方一人一人だと、こういうふうな思います。その上でですね、私たちもこれからいろいろな就職の活動の中で皆様方のお力を直接お借りするというお願いをできたら、ぜひ皆様方の大人振りを今の学生たちに示してあげて欲しい、というお願いをする機会があると思うけれども、その際はぜひ喜んで、よっしゃというふうにですね、ぜひ大学のほうに訪ねてきて後輩たちにいいモデルとしてそのままついでに話を、直接声を掛けていただきたいとこのように思います。簡単ですが、挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございます。

平成14年度 同窓会役員名簿

会長	冨岡 勇哉	平成14年	法卒
副会長	廣瀬 尚	平成15年	法卒
会 計	森沢 克啓	平成19年	法卒
	白石 直哉	平成13年	法卒
	坂本 修	平成15年	法卒
会計監査	水林 卓	平成16年	法卒
	中川 順子	平成16年	経済卒
委 員	金子 智彦	平成13年	法卒
	尾上 ゆかり	平成14年	法卒
	北島 健太郎	平成16年	法卒
	前田 悦子	平成17年	経済卒
	飯塚 小姫子	平成12年	文化情報卒

平成14年度 駿河台大学同窓会事業計画

平成14年度の同窓会事業は、以下の通りです。同窓会総会の開催、同窓会報の発行以外は新規の事業です。また、名簿の作成については、総会時にはなるべく早く作成することでご説明しましたが、その後の役員会で検討した結果、同窓会活動の活性化のためには名簿作成が急務であるということ、また、会員からの要望が多いことなどから、今年度中の完成を目指すことになりました。

1 同窓会総会・懇親会の開催

会報の冒頭で記載のとおり、5月18日(土)ホテルメトロポリタンにて開催した。

2 同窓会報の発行

昨年度より創刊した同窓会報の発行を継続して行い、4月及び9月の年2回発行する。なお、4月の会報では総会の案内を、9月の会報ではホームカミングデーの案内を兼ねる。

3 支部会援助

従来、同窓会の支部会は実施していなかったが、今年度は支部会実施を予算化し実施することとした。実施地区は7月末現在未定であるが、11月頃に行う予定で該当地区居住の会員には別途連絡する。また、各地区の会員が自主的に支部会を実施する場合は事務局にて実施通知の発送等の援助を行う。

4 在学生援助事業

駿河台大学では、昨年度より奨学金制度の充実を図っており駿河台大学給付奨学金制度を創設した。また、後援団体である父母会についても父母会奨励金制度を今年度より創設した。これらの奨学金の性格としては、駿河台大学給付奨学金が成績優秀者及び経済的困窮者を対象とし、父母会奨励金は主として文系の課外活動を対象にするものである。同窓会においても在学生の援助事業として、同窓会奨励金制度を創設する。対象となる学生は、近年、駿河台大学においてスポーツの振興に力を入れていること、他の奨学金制度と重複しないことなどから、スポーツにおける成績優秀者とする。

5 ホームカミングデーの実施

卒業後、足を運ぶ機会も無くなった会員に、再び母校を訪れる機会を提供するために、駿輝祭開催時に会員を招き懇親会を実施する。また、同時に同窓会主催の講演会も実施する。

6 同窓会ホームページの開設

同窓会活動のタイムリーな情報の提供、会員同士のコミュニケーションのツール、大学の最新情報の提供を目的として、同窓会ホームページを開設する。10月中旬には公開予定。なお、会員に対するメールアドレスの付与も検討中。

7 同窓会名簿の作成

同窓会活動の基盤となる名簿の作成については会員からの要望も多く、役員会においても早急に作業を進めることが確認されたので、今年度中の完成を目指し、名簿を作成する。作成に当たっては、全会員に対し、現住所、職業、メールアドレス、同窓会名簿への掲載の可否等を調査する。以上

駿河台大学同窓会奨学金給付規程

(趣 旨)
 第1条 この規程は、スポーツにおいて顕著な成績を収め、駿河台大学の名誉を高めた学生に対し、駿河台大学同窓会奨学金(以下「同窓会奨学金」といふ)を給付することに関し、必要な事項を定めるものとする。
 (給付対象等)
 第2条 同窓会奨学金の給付を受けることができる者(以下「奨学生」といふ)は、次に掲げる条件を備える者のうちから駿河台大学スポーツ振興委員会(以下「委員会」といふ)が推薦し、同窓会が決定する。
 (1)駿河台大学の学生であること。
 (2)スポーツにおいて顕著な成績を収め、かつ、人物が優れていること。
 (3)学業成績が平均水準以上であること。
 (推薦基準)
 第3条 前条に規定する委員会の推薦は、別に定める基準によるものとする。
 (奨学生の数)
 第4条 奨学生の数は、毎年度予算の範囲内で決定する。
 (給付額及び給付回数)
 第5条 給付額は20万円とし、給付回数は当該年度1回とする。
 (募集期間及び出願方法)
 第6条 奨学生の募集期間及び出願方法は、別に定める。
 (他の奨学金との関係)
 第7条 同窓会奨学金の支給は、既に他の奨学金の給付を受けている者であっても、これを認めるものとする。
 (奨学生の活動状況報告)
 第8条 委員会は、奨学生の学業成績及び課外活動の状況等について、毎年度1回以上、同窓会に報告するものとする。
 (受給資格の喪失)
 第9条 奨学生は、次の各号のいずれかに該当した場合は、その資格を失う。
 (1)退学若しくは除籍又はその他の理由により、学籍を失ったとき。
 (2)駿河台大学学則第51条の規定により、停学又は訓告処分を受けたとき。
 (3)休学したとき。
 (4)出願書類等の提出書類に虚偽の記載をしたとき。
 (5)正当な理由なく必要な手続を怠ったとき。
 (6)本人の意思により辞退したとき。
 (7)その他、同窓会が奨学生として不適格と判断したとき。
 (事情聴取等)
 第10条 同窓会は、前条第7号に規定する判断をする場合は、事前に委員会に意見を求め、当該奨学生に対し、事情を聴かなければならない。
 (給付金の返還)
 第11条 同窓会は、第9条の規定により資格を失った者に対し、支給された同窓会奨学金全額の返還を要求することができる。
 (所轄部署)
 第12条 この規程に定める同窓会奨学金の支給に関する事務は、駿河台大学同窓会事務局において処理する。
 附則 この規程は、平成14年4月1日から施行する。

平成13年度同窓会収支決算報告書

(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

駿河台大学同窓会

(収入の部)

(増減 は超過を示す。単位：円)

勘定科目	13年度予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越金	110,227,874	110,227,874	0	
会費	27,760,000	27,760,000	0	新規加入会員1,439名(新入生)
受取利息	100,000	169,476	69,476	定期預金利息168,188円、普通預金利息1,288円
小計(当年度分計)	138,087,874	138,157,350	69,476	
学友会費からの振替え	44,695,957	44,750,600	54,643	
収入の部合計	182,783,831	182,907,950	124,119	

(支出の部)

勘定科目	13年度予算額	決算額	増減	備考
事業費	2,100,000	678,775	1,421,225	
同窓会会報作成費	600,000	278,775	321,225	会報1号分
懇親会費	500,000	400,000	100,000	総会懇親会
大学への卒業寄付金	1,000,000	0	1,000,000	
運営事務費	3,900,000	1,550,518	2,349,482	
郵送料	3,700,000	1,489,828	2,210,172	会報1号郵送料、総会開催通知郵送料
総会通知印刷費	100,000	28,203	71,797	
雑費	100,000	32,487	67,513	役員会実施経費
予備費	1,000,000	164,802	835,198	封筒作成費、住所届出葉書作成
小計(当年度分計)	7,000,000	2,394,095	4,605,905	
次年度繰越金	175,783,831	180,513,855	4,730,024	
支出の部合計	182,783,831	182,907,950	124,119	

平成14年度収支予算

(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

駿河台大学同窓会

(収入の部)

(増減 は減を示す。単位：円)

勘定科目	14年度予算額	13年度予算額	増減	備考
前年度繰越金	180,513,855	110,227,874	70,285,981	
会費	6,580,000	27,760,000	21,180,000	1年次1215名、2年次11名、3年次90名
受取利息	100,000	100,000	0	
小計	187,193,855	138,087,874	49,105,981	
学友会費からの振り替え	0	44,695,957	44,695,957	
収入の部合計	187,193,855	182,783,831	4,410,024	

(支出の部)

(増減 は減を示す。単位：円)

勘定科目	14年度予算額	13年度予算額	増減	備考
事業費	8,300,000	2,100,000	6,200,000	
運営事務費	3,850,000	3,900,000	50,000	
予備費	1,000,000	1,000,000	0	
小計	13,150,000	7,000,000	6,150,000	
翌年度繰越金	174,043,855	175,783,831	1,739,976	
支出の部合計	187,193,855	182,783,831	4,410,024	

同窓会支出予算項目内訳明細表

「事業費」内訳

(増減 は減を示す。単位：円)

勘定科目	14年度予算額	13年度予算額	増減	13年度実績額	備考
同窓会会報作成費	800,000	600,000	200,000	278,775	年2回発行(400,000円×2)
懇親会費	0	500,000	500,000	400,000	同窓会総会実施費へ
大学への卒業寄付金	2,000,000	1,000,000	1,000,000	0	平成13・14年度卒業生分
ホームカミングデー懇親会費	500,000	0	500,000	0	新規
同窓会総会実施費	2,500,000	0	2,500,000	0	新規 同窓会総会の充実(従来の懇親会費)
地方支部会実施費	500,000	0	500,000	0	新規
同窓会奨学金	2,000,000	0	2,000,000	0	新規(20万円×10名)
計	8,300,000	2,100,000	6,200,000	678,775	

「運営事務費」内訳

(増減 は減を示す。単位：円)

勘定科目	14年度予算額	13年度予算額	増減	13年度実績額	備考
郵送料	3,400,000	3,700,000	300,000	1,489,828	会報・通知等4回(850,000×4回)
総会通知印刷費	0	100,000	100,000	28,203	印刷費に変更
印刷費	250,000	0	250,000	0	新規 前年度総会通知印刷費として計上、封筒・住所届出ハガキ印刷費を含む
雑費	200,000	100,000	100,000	32,487	役員交通費等
計	3,850,000	3,900,000	50,000	1,550,518	

駿河台 学内ニュース

トレーニングセンター完成!

これまで体育館1階に設置されていた部屋がクラブハウスへ移転し、この空いたスペースの体育館1階にトレーニングセンターが完成した。センターは本学教職員及びび学生等のスポーツ振興を目的として運用される施設で、延べ床面積850㎡、中2階には2走路のランニングコースを備える。

1階には筋力トレーニング用マシンが約40台、心肺持久力用マシン約20台、その他体力測定用マシン等を含めた約200台のトレーニングマシンが備え付けられている。

センターの利用を希望する場合、必ずトレーニングによる講習会を受講しなければならない。そして講習会を受講した者に使用者カードを発行し、次回からは受付にて使用者カードを提出し利用することになる。

メディアセンター入館者100万人突破!

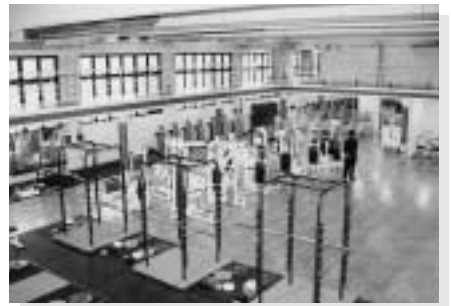
駿河台大学では開学以来、学内LANに接続したパソコンの大量設置、学生のノートパソコン所持やメールアドレスの付与、全学部のカリキュラムでのコンピュータ教育など、現在でこそ常識化しつつあるこれらの内容を他大学に先駆けて導入してきた。そして、1999年10月、マルチメディア・ネットワークの拠点としてメディアセンターが完成し、多くの学生・教職員・卒業生・大学近隣の市民の利用により、このたび、オープン3年を待たずに100万人の利用者数を数えるに至った。

現在、メディアセンターには図書資料24万冊、視聴覚資料1万点有、学生が自由に利用できるパソコン160台、そしてノートパソコン利用コーナーに加え、付帯設備では、FMスタジオ、映像スタジオおよびノンリニア編集設備が整っている。

メディアセンターの活用方法は幅広く、本学の学生、卒業生、教員や市民の研究活動への支援としては、3階カウチャーでのレファレンスに加え、他大学図書館との相互協力による文献複写なども

主な利用規則は以下の通り。

利用資格
本学教職員、本学学生、本学卒業生等
利用時間
「授業期間中」
午前9時～午後7時
「授業期間外」
4月～9月
午前9時～午後6時、
10月～3月
午前9時～午後5時



(ただし午前9時20分～午後0時30分までの間は授業における利用を最優先とする。また午後5時半以降の利用に関しては1組2人以上の利用に限る)

休館日
日曜日及び祝日、本学創立記念日(11月22日)、休業期間中の一定期間

よく行われている。このような状況の中で、メディアセンターは利用環境の充実も随時進めている。2001年度には、3階図書閲覧コーナーの約30席に情報コンセントを設置したことで、文字情報とパソコン双方が利用できる環境を充実させ、2階のAVライブラリーでは、近年増加したDVDソフトの充実を図り、視聴ブースのうち半数以上においてDVDの利用を可能にした。100万人の利用者を超えた今後、より一層の資料充実・利用環境の整備を進めていく予定である。

また、6月27日(木)には、利用者100万人突破を記念して、直木賞受賞作家としても著名な志茂田景樹氏を迎え、「新しいメディアが創造するものと豊かな感受性」という演題による講演会を開催した。当日は、学生、教職員だけでなく一般市民の方々も含め、約20名の参加があり、「デジタル時代において、機械に使われることなく、人間らしさを失わないようにするために、感受性を常に高め、じっくり考えることが必要である」と説く志茂田氏の絶妙な語り口に熱心に耳を傾けていた。

駿河台 スポーツニュース

硬式野球部念願の2部優勝

東京新大野球連盟2部リーグに所属する野球部は、春季リーグ戦において4季ぶり2度目の優勝を果たした。開幕4連勝と好調な滑り出しを見せ、一時はこの勢いで行くかと思われたが、中盤より東京理科大、日大生物資源科学部との争いになり、最終週の対理科大戦で、勝利した方が優勝という攻防を、3対1で制し、8勝2敗で優勝を勝ち得た。個人タイトルは5勝0敗、防御率1.83の飯沼伸也(経済4)が最高殊勲選手、最優秀投手、最多勝、最優秀防御率を獲得。最多打点を渡辺豊士(法3)、最優秀出塁を大泉仁(法3)、最多盗塁を泉徳和(法4)がそれぞれ獲得した。

1部6位校杏林大との入替戦は初戦0対4と零封されたが、2戦では6対5と押し返す。3戦では初回先制を許すが、8回に追いつく。しかし、その裏1点を入れられ1対2で敗れ、1部昇格はならなかった。

野球部は平成5年春季より19季連続で2部在籍。前回優勝した平成12年春季も、入替戦で杏林大と対戦し、0対6、0対11の大差での2連敗であった。この2年間で本学の實力も高まり、1部と2部のレベル差も縮まりつつある。今春より強化指定クラブとなり、空席だった監督とコーチに共にOBの峰岸和泰氏、福田篤志氏を迎え、秋季に一部昇格を担う。

川嶋寛主将の話

主将に就任した昨秋は満足のいく結果が出せなかった(2部4位)ので、何とか巻き返したかった。12連敗中だった日本工業大戦に勝って、勢いに乗れたと思う。入れ替え戦の結果は残念だったが、選手は皆明るく、チームのムードは最高です。(かわしまさとし・法律学科4年・都立東村山西高校出身)

【春季リーグ戦成績】

各2戦	本学	2 - 3	東京理科大学
	本学	3 - 1	"
	本学	8 - 1	日本大学生物資源科学部
	本学	7 - 4	"
	本学	9 - 4	日本工業大学
	本学	1 - 3	"
	本学	10 - 0	国際基督教大学
	本学	18 - 2	"
	本学	4 - 3	工学院大学
	本学	5 - 4	"
全成績	8勝2敗		
【入替戦】	本学	0 - 4	杏林大学
	本学	6 - 5	"
	本学	1 - 2	"
		1勝2敗で2部残留	



剣道部

黒澤尚希 全国大会2位

7月7日(日)に日本武道館で行われた第50回全日本学生剣道選手権大会(個人戦)に黒澤尚希(法3)が出場、準優勝(全国2位)という素晴らしい成績をおさめる。初出場の嶋田貴文(法1)もベスト32に入る大健闘。この大会には全国各地の予選を勝ち抜いた176名が参加。両名とも、5月12日(日)に行われた関東学生剣道選手権大会で90大学総勢45名から、53名の地区枠入り、黒澤は2年連続、嶋田は初の全国大会出場。

昨年(ベスト32)より一つでも多く勝ち抜くことを目標にしていた黒澤は、近代、法大、筑波大と強豪校の選手と当たるが、勢いは止まらず、決勝(7回戦)まで勝ち上がる。決勝では昨年ベスト8の野口(中大4)との対戦。緒戦は野口が押し気味で、1本目を面で奪われるが、小手で取り返し、以後互角から黒澤が押し気味の試合展開。最後に試合巧者の野口にすきをつかれ、突きを決められる。

一方嶋田は、インターハイ出場経験を活かした

冷静な試合運びで4回戦まで駒を進める。嶋田が敗れた小林(鹿屋体大3)は、その後野口と当たる。実力者揃いのブロックでのベスト32。ベスト32の中で1年生は嶋田を含めて3名、ほとんどが3年生以上であり、来年以降が楽しみな存在。



準優勝の黒澤(右)と嶋田(左)

カヌー部 ジャパンカップで連続上位入賞

4月21日(日)

第57回国民体育大会カヌー競技東京都予選会兼2002年東京都カヌースラローム予選大会

C・1(カナディアンシングル)

野々宮賢治(比較1) 優勝

K・1(カヤックシングル)

加藤哲平(法2) 4位

5月12日(日)

第25回NHK杯全日本選抜カヌースラローム競技大会

C・1 野々宮賢治(比較1)

決勝6位(予選4位)

K・1 加藤 哲平(法2)

決勝9位(予選4位)

5月26日(日)

スラロームジャパンカップ第1戦全日本あぶくまカップ大会

C・1 野々宮賢治(比較1) 2位

K・1 加藤 哲平(法2) 3位

6月1日(日)

スラロームジャパンカップ第2戦

C・1 野々宮賢治(比較1) 2位

本年度よりアクアスポーツクラブはカヌー競技に特化し、カヌー部となりました。

女子ホッケー部

全日本王座決定戦出場へ

1部入りして2シーズン目となる女子ホッケー部が昨シーズンの3位から2位へと、また一歩階段を上った。昨シーズンは2位の東農大に敗れて3位であったが、今回は3対1で破り、その実力も見せつけた。現在16シーズン連続の山学大にも0対8から、0対4まで1シーズンでその差を詰めた。個人タイトルは得点王ランキング4位に中里真希(法3)、谷ヶ崎直美(文情3)、松山友子(文情1)が、アシストランキング1位に谷ヶ崎、ベストイレブンに中里(DF)、谷ヶ崎(MF)がそれぞれ選出された。

関東2位となったことで、全日本大学ホッケー王座決定戦出場への足がかりをつかんだ。王座決定戦とは東西の代表2校、計4校で日本一を競うもの。東の出場資格は、関東リーグ1位校と、関東2位と他の東日本ブロック(東北、北海道、北信越)の1位とで行う第2代表予選会勝利校。6月上旬の予選会を本学は難なく突破、王座決定戦出場を決めた。

奈良県天理市で6月28日(金)〜30日(日)に行われた決定戦には、東の代表として本学と山学大、西代表として天理大と東海女子大が出場。初戦の天理大戦は0対5で落とし、続く3位決定戦で山学大に1対7で敗れた。優勝は東海女子大、2位は天理大、本学は4位であったが、創部3年に

して全国レベルまで来た。来年度から強化指定クラブとして男子ホッケー部も本格始動し、ホッケー部は男女合わせてさらなる飛躍が期待される。「リーグ成績」

本学	0・4	山梨学院大学
本学	3・1	東京農業大学
本学	3・0	早稲田大学
本学	4・0	法政大学
本学	5・0	学習院大学
本学	0・5	天理大学
本学	1・7	山梨学院大学

(王座決定戦)
全日本王座決定戦は4位。



その他クラブ

バレー部 関東大学リーグ8部 2勝5敗5位)

男子バスケット部 関東大学選手権 3回戦進出

弓道部(男子) 関東大学選手権

春季トーナメント 12位

"(女子) 関東大学選手権

春季トーナメント 26位

テニス部 関東学生テニストーナメント

男子ダブルス 2回戦敗退

サッカー部

第16回埼玉県大学サッカー選手権大会

兼第26回関東大学サッカー選手権大会埼玉県予選

2回戦 本学 3・0 聖学院大学

3回戦 本学 2・2 文教大学

(4PK3)

準決勝 本学 1・2 城西大学

平成14年度天皇杯埼玉県大学代表決定戦

決勝トーナメント

1回戦 本学 4・1 文教大学

準決勝 本学 0・3 城西大学

卒業生は今

遠藤 隆行さん



3月8日(金)から17日(日)までアメリカのソルトレークシティで開催された第8回冬季パラリンピックで、1999年度法学部卒業の遠藤隆行さん(えんどう たかゆき・埼玉県立坂戸高校出身)がアイススレッジホッケーに出場した。遠藤さんは本学卒業後、川越市職員として総合保健センターに勤務し、市民の健康診断に携わっている。

2000年より日本代表となり、今回のパラリンピックはフワードとして参加、6試合すべてにフル出場して4得点を挙げ、日本チームの得点王となる大活躍。カナダ戦では決勝ゴールを決め日本の勝利にも貢献した。スピード感あふれるプレーは大会でも評判となった。

アイススレッジホッケーを始めたきっかけは？
 大学3年の7月にキャンパスで声を掛けられたのがきっかけです。長野パラリンピックでボランティアをしていた学生から「アイススレッジホッケーを知っている？」と突然声を掛けられ、東京にチームがあること、土曜日に練習していることを聞き、選手の電話番号を覚えてもらいました。

それで連絡を？
 その時は面倒だと感じたのが本音で、8月の終わりに何も申しないのは申し訳ないと思い、やっと電話したのです。すると「練習に来てみないか」と誘われ、時間もあつたので見学に行くことになったんです。

見学に行つてどうでしたか。

見学だけのつもりが、行つてみると道具を一式用意してくれていました。せつかくの機会だからとチャレンジしてみたのです。体力には自信があつたし、練習中も「いいねえ」と誉められ楽しかつたですね。でも正直、疲れたし、これが最初の最後の経験と思つていました。

でも2回目？

帰り際に選手からビデオを借りたのです。ビデオを借りたら返しに来なきゃいけないと思いがら受け取つたのは、長野パラリンピックのビデオでした。ビデオを見て、貸してくれた選手が日本代表選手だと初めて知つたのです。驚きと、他にも練習で見た顔が何人もいて「スゴイ！」と思ひました。ビデオを返しに行つたら、「せつかくだから」とまた練習に参加し、今度は「道具を持っていいいから」と言われたのです。

巧みなスカウトですね。

ウチのメンバーは誘うのが上手いんですよ。練習に参加し、一ヶ月経つた頃に合宿に誘われました。日本全国から選手が集まり、みんな上手いんですよ。ビデオで見た活躍している選手と話す機会もあり、のめりこむようになりました。

ソルトレーク冬季パラリンピックでは大活躍でしたね。

チームは5位という成績で反省点や課題が山積みあります。個人的には、初めて参加したパラリンピックで、ポイントゲッターとしての役割を果たし結果も残せて満足しています。スピードが要求されるスポーツですが、日本では一、二番の自負もあります。

練習は？
 埼玉県の



選手は私ひとりだけです。東京のチームに所属し毎週土曜日の早朝から2時間ほど練習をします。スケートリンクを貸し切るので、どうしても早朝や深夜の練習になってしまいます。

ホッケーと仕事の両立は？

仕事も3年目を迎え、コンピュータ化のプロジエクトを担当し、やりがいを感じています。就職活動も、ホッケーを続けられる仕事を大前提に考えました。現在の職場は人間関係も良好で、ホッケーに関しても理解があり恵まれた環境だと思つています。

今後の目標はありますか。

2006年のイタリア・トリノで開催されるパラリンピックですね。2004年には世界選手権を福岡で行う計画もありますので、そういった大きな大会で結果を残していくことです。

卒業生は今

平成6年法学部卒
 田島 祐一



私は飯能市で生まれ、幼稚園から高校まで地元で過ごしてきました。大学も飯能なので友人からは「随分、近場ですませたね」と笑われる。

学部は法学部。今でも親戚からよく法律のことで相談を受けるが、満足にお答えできない。大学4年間、いつか何をやっていったのかと思うと恥ずかしいし、学費を捻出して貰つた親にたいして申し訳ない気分になる。

それでもやはり大学に行つて良かったと思つている。それは3年・4年とゼミでお世話になった吉田教授やゼミに集まる仲間と出会えたからである。勉強はしっかりやるが、とにかく飲み会・バーベキュー・合宿とイベントが多い。学生の意識が高かつたのか、ただ教授が一人で盛り上がりつていたので、駿輝祭で研究発表まで行つた。そこで家族法の諸問題を、お昼のテレビ番組のお悩みコーナーの設定で行い、私は司会を務めたが、見に来

たお客さんが引きまくりで冷や汗をかいたことを覚えてる。決して成功したとは思えないそのときの発表は今でも楽しい思い出となっている。またここで出来た仲間は大きな財産になっている。

在学中、吉田教授から「大学はいろいろながいる」ということを学ぶところだ」といった趣旨の言葉を伺い、生意気にも、なるほどその通りだなと思つたことがあつた。実際、大学に入つて多くの友人と出会つたが、中にはちよつと世間とはかけ離れ、理解できないな」と思う人もいた。しかし、大学4年間で、多くの人と出会い、語り合つたことが大きなプラスになった。授業では学べない勉強、知らない間に自分を成長させてくれたのではないかと思う。

世界を震撼させた世界貿易センターのテロ事件、次いで世界同時株安、立ち直り始めた日本企業も再び底なし沼に逆戻り、厳しい経済情勢に加え、IT革命の下での業界の再編は、一企業だけにとどまらず業種によっては、業界の存亡が話題にされている。そんな厳しい時代だからこそ自分自身の実力と自信が厳しい時代だからこそ自分なると思う。いつまでも学生時代と同じように生涯勉強する気概を持ち、学生時代と同じように多くの人の出会い、語り合いを通してさらに自分を磨いていきたい。

地元との縁が切れず、現在も私は地元飯能の企業で印刷の営業を行っている。各市町村の広報・パンフレット・リーフレット・ポスター・チラシなど多くの注文を受け、駿河台大学においても各課から数多くの注文を頂いている。

営業という仕事をしていると、やはり多くの人と出会う。職場だけでなくお客様や外注先からも学ぶことが多い。また営業をしていると必ずしも好意的でない態度を取られる方もいる。それでも粘り強く通い、打ち解けていく中で、仕事の注文が取れたときは、本当に嬉しいし、一歩前進したことを実感する。

社会に出てより5年、まだまだ未熟ではあるが、大学で学んだことを活かし、成長していきたい。今回、このような機会を頂き、在学中・卒業後の近況を報告させていただいたが、今後も、卒業生の「今」を知ることが出来る同窓会総会等を通して、同窓生との交流の場を広げ、駿大OBの一人として恥かしくないように、社会で活躍して行ければと思つている。

11月2日は母校を訪ねよう!

皆さんは、卒業してから母校を訪ねたことはありませんか。多くの方は、卒業後は訪れる機会は無かったことと思います。そんな皆さんのために駿輝祭の開催に合わせて、11月2日(土)にホームカミングデーを実施します。ホームカミングデーでは、同窓会懇親会を行います。ぜひ、大学時代のお友達と連絡を取り合って出席してください。また、ご家族連れも大歓迎です。駿輝祭では、お子様も楽しめるイベントが満載です。ご来場をお待ちしています。

~ ホームカミングデー 開催のお知らせ ~



昨年度の懇談会

ホームカミングデー懇親会
時間：15：00～16：30
場所：第2講義棟15階 レセプションルーム
会費：無料

ホームカミングデーには講演会を行う予定です。講演者等の詳細は10月中旬開設予定の同窓会ホームページでお知らせします。

大学事務局 からのお知らせ

同窓会員は所定の手続きを取ることにより、大学内の以下の施設を利用することができます。

1・メディアセンター

申請方法・身分証明書(免許証等)をご用意の上、メディアセンター1階総合受付で所定の申請書類に必要事項を記入してください。入館証を即日交付します。なお、入館証は年度ごとに申請が必要になります。

利用内容・入館証の発行日から当該年度の3月31日まで、メディアセンターの図書・雑誌・新聞等の閲覧・複写およびAV資料の視聴サービスを受けることができます。

2・トレーニングセンター

申請方法・身分証明書(免許証等)をご用意の上、体育館1階体育課窓口で所定の申請書類に必要事項を記入してください。

利用方法・トレーニングセンターの利用に当たっては、事前に講習会を受けていただきます。講習会は専属トレーナーがマシンの使い方などを解説し、1時間程度かかります。講習会を終了した方には利用者カードを発行いたします。次回利用時にはこのカードを必ずお持ち下さい。講習会の日程は直接体育課(0429・72・1147)へお問合せください。なお、トレーニングセンターの開館は平日のみとなり、講習会は土曜日には開館しません。

証明書を入手したい場合は以下の手続きを行ってください。

【証明書の種類と手数料】

卒業証明書 1通200円(英文証明書も同額)
成績証明書 1通200円(英文証明書も同額)

1・窓口申し込み

教務課窓口にて「証明書交付願用紙」を受け取り、必要事項を記入の上、証紙券売機(第二講義棟正出入口左手脇)で手数料分の証紙を購入し、貼付した上で、窓口提出して下さい。その場で交付いたします。

2・郵送申し込み

便箋等の書面に以下の事項を明記し、発行手数料相当分の切手、送付先を明記し切手を貼付した返信用封筒を同封し、以下のあて先に申し込

んでください。申し込み時に手数料を納入していただくため、電話での申し込みはできません。返信用封筒の郵送料は次の表を目安にしてください。なお、証明書の発行は、申し込み文書が本学に到着した日の翌日午後以降になります。

〈申込書記載事項〉

交付請求日 卒業学部・学科又は研究科
卒業年月日 学籍番号 氏名(ふりがな)
生年月日 現住所・電話番号 証明書の種類・通数
〈あて先〉

〒37・8555 埼玉県飯能市阿須688番地

駿河台大学 教務課 学部

(封筒に証明書申込書在中と朱書きで明記してください。)

証明書枚数	封筒サイズ	返信用切手金額
1～3枚	定型(長3)	80円
4～8枚	定型(長3)	90円
9～10枚	定形外(角2)	140円

同窓会事務局 からのお知らせ

同窓会事務局では、

- 1・会員の住所管理
 - 2・同窓会報の作成・発行
 - 3・資金管理
 - 4・総会・懇親会の運営
- 等の業務を行っています。これらの業務に関連して、次の方は事務局にご連絡ください。

- 1・住所・氏名に変更があった方
 - 2・同窓会報に寄稿したい方
 - 3・支部会を組織したい方
- 特に2・の同窓会報への寄稿につきましては、いつでも受け付けておりますので、よろしくお願

いします。

〒37・8555 埼玉県飯能市阿須688

駿河台大学同窓会事務局

〒0429・72・1101

〒0429・72・1149

〒0429・72・1149

なお、同窓会総会の出欠連絡ハガキにて住所変更をご連絡いただいた方がなご、氏名が未記入のため処理できないものがありました。この会報が届出と異なる住所に届いた方は事務局までご連絡下さい。

(事務局)